

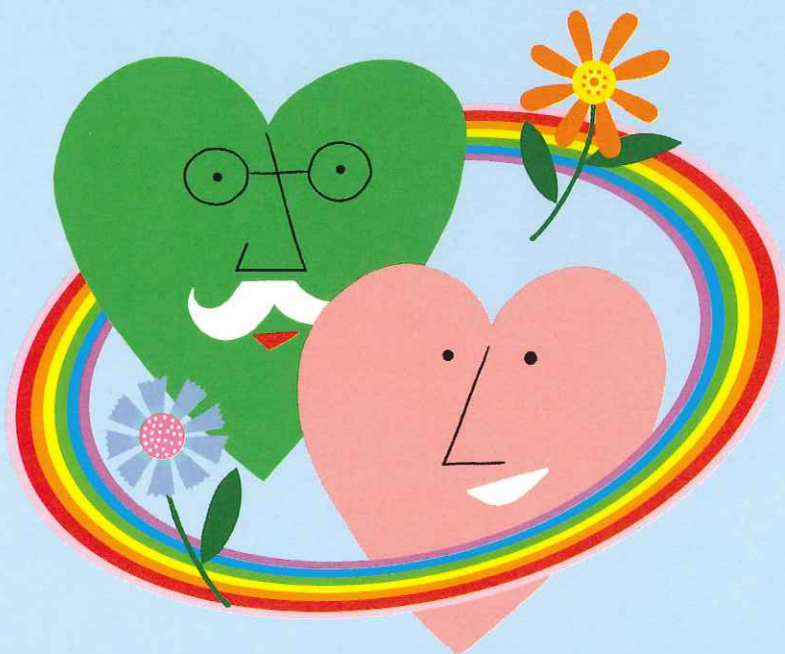
医療安全推進週間

2006年11月19日(日)～25日(土)

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/i-anzen/index.html>

厚生労働省では平成13年度から11月25日を含む1週間を「医療安全推進週間」と定め「患者の安全を守るための医療関係者の共同行動」の推進を図っています。その一環として国民の皆様幅広く医療安全に関する取り組みを紹介するために、この度どなたでも参加できる「医療安全フォーラム」の開催を企画いたしました。

わかるまで
聞こう話そう伝えよう



※中央行事以外にも各地方厚生局において医療安全ワークショップを開催し医療現場における安全意識の向上に努めています。

どなたでもご参加いただけます

医療安全フォーラム開催

1日目 11月21日(火) 13:00～16:00

国民向けフォーラム

・「医療安全推進週間標語」の優秀作品表彰
・基調講演
「地域ぐるみで医療安全」

夏川周介氏(佐久総合病院 院長)

・パネルディスカッション

テーマ「医療安全はコミュニケーションから」

ファシリテーター: 山内桂子氏 (医療の質・安全学会
パートナーシッププログラム責任者)

コメンテーター : 夏川周介氏 (佐久総合病院 院長)

三浦純一氏 (公立岩瀬病院 医局長)

安井はるみ氏 (神奈川県看護協会 医療安全対策課長)

中田郷子氏 (MSキャビン 理事長)

西川美智子氏 (横浜市健康福祉局医療安全課)

2日目 11月22日(水) 10:00～17:00

ワークショップ・研究発表会

・医療安全に関するワークショップ(午前)

パネルディスカッション

テーマ「医療事故に係る死因究明の在り方」

山口徹氏、勝村久司氏、鈴木利廣氏、江原一雅氏、佐原康之氏

・研究発表会(午後)

「処方せんの記載方法に関する医療安全対策の検討」 齊藤謙一氏
「国内外における医療事故・医事紛争処理に関する法制的研究」 藤澤由和氏
「医療安全における患者参加の実践プログラムとその効果的教育・研修システムの開発研究」 橋本迪生氏
「安全な療養環境を構築するための物的対策に関する研究」 眞淳夫氏
「ヒヤリ・ハットや事故事例の分析による医療安全対策ガイドライン作成に関する研究」 嶋森好子氏
「医療機関における安全管理体制のあり方に関する調査研究」 井部俊子氏
「医薬品及び医療機器のコードを利用した安全対策とトレーサビリティ確保のためのシステム導入と効果に関する研究」 土屋文仁氏

会場/国立オリンピック記念青少年総合センター 大ホール

募集人員/各回700名 入場料無料

応募方法/官製はがきによる郵送、ファクシミリ及び電子メールで、住所・氏名・年齢・性別・職業・電話番号を明記し応募して下さい。

※申し込みの際に収集した個人情報は、本フォーラムの運営に当たっての管理用データ以外に使用することはありません。

応募・問合せ先 <運営事務局>

厚生労働省 認定個人情報保護団体 内閣府認証 特定非営利活動法人

医療ネットワーク支援センター

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-45-2

TEL 03-5333-4771 FAX 03-5333-4768

E-mai. info@medical-bank.org

主催 厚生労働省
後援団体

文部科学省、各都道府県、独立行政法人国立病院機構、独立行政法人労働者健康福祉機構、独立行政法人医薬品医療機器総合機構、社会福祉法人恩賜財団済生会、財団法人医療関連サービス振興会、健康保険組合連合会、財団法人厚生年金事業振興団、国家公務員共済組合連合会、財団法人船員保険会、全国国民健康保険診療施設協議会、全国厚生農業協同組合連合会、社団法人全国社会保険協会連合会、社団法人全国自治体病院協議会、全国ビルメンテナンス協会、社団法人全日本病院協会、社団法人地方公務員共済組合協議会、社団法人日本医師会、社団法人日本医薬経営コンサルタント協会、日本医療機器産業連合会、財団法人日本医療機能評価機構、社団法人日本医療法人協会、社団法人日本衛生検査所協会、社団法人日本看護協会、社団法人日本歯科医師会、社団法人日本歯科衛生士会、社団法人日本歯科技工士会、社団法人日本私立医科大学協会、社団法人日本精神科病院協会、日本製薬団体連合会、日本赤十字社、社団法人日本病院会、社団法人日本病院寝具協会、社団法人日本病院薬剤師会、社団法人日本放射線技師会、社団法人日本薬剤師会、社団法人日本臨床衛生検査技師会、社団法人日本臨床工技士会、社会福祉法人北海道社会事業協会